



翠嵐会
令和8年度
定時総会議案書

日時 令和8年5月23日(土)

神奈川県立横浜翠嵐高等学校同窓会

翠嵐会

第1版 20260515v110

翠嵐会 令和8年度

定時総会議案

日時 令和8年5月23日（土）

1 会長ご挨拶

2 議案

【報告事項】

令和7年度活動報告

【決議事項】

第1号議案 令和7年度決算および監査報告について

第2号議案 令和8年度事業計画および予算について

3 執行部の体制紹介

ご挨拶

母校は2024年に創立110周年、定時制課程創設60周年を迎えました。翌年の横浜平沼高校創立125周年記念事業に合わせ、この2年に渡って翠平戦を復活させました。

これらの大きな事業の節目を過ぎた本年度は、定時制募集停止となり、翠嵐会は新たなフェーズに入ります。翠嵐支援基金は母校と連携してさらなる支援を充実させてまいります。

翠嵐会は会員同士の親睦向上を図り社会に貢献することを目的としています。本年度も行事として総会・講演会・懇親会、平曲の会、翠嵐会美術展を開催、青春かながわ校歌祭への参加をいたします。メディアとして会員の皆様に最も訴求力のある翠嵐会報を発行します。

これらの活動を通じて、母校や生徒との交流を深め、社会教育支援に繋げて行きたいと思えます。

翠嵐会総会は、会員の皆様にお集まりいただき、事業計画・予算・その他翠嵐会運営に関する審議を行い、議決に参加していただく大変重要な会議です。本年度の決議事項は、令和7年度決算、令和8年度事業計画・予算案になります。前もって役員会で議決した事案を、総会に諮りご承認いただきます。

本年度も昨年同様、総会に諮る議案書を期間限定で翠嵐会ホームページからダウンロードして閲覧できるようにし、ホームページからご意見と賛否の意思を確認する方法と併用することにしました。翠嵐会会員の皆様には期間内にホームページより承認・非承認、ご意見をお寄せください。

翠嵐会総会当日にご参加出来ない方々のご意見も幅広く伺えるようになると考えております。

デジタル化が進み、あらゆるコミュニケーションがオンラインで出来るようになりました。紙がなくてもスマホ・パソコンで情報が伝わります。こうした時代に合わせた組織運営を取り入れます。

一方で行事は人と人とが目を合わせ、五感でコミュニケーション・意思疎通が図れるととても重要な場と考えています。

本年度も皆さまのご支援ご理解をよろしくお願いいたします。

< 報告事項 >

令和 7 年度活動報告

1. 定時総会・特別講演会・懇親会

2025 年 5 月 24 日（土）に令和 7 年度の翠嵐会総会・講演会・懇親会を崎陽軒本店にて開催した。

総会は年一回会員全員を招集し、議案に従って提示し、承認を得る大変重要な会であり、会則上も「会計年度終了後 3 ヶ月以内に定時総会を開く」と規定されている。開催前 2025 年 5 月 18 日から 23 日の 6 日間期間限定で、翠嵐会ホームページ上に議案書の令和 6 年度の事業報告・決算、役員改選、令和 7 年度事業計画・予算案を提示し、確認、承認を得る投票を実施した。

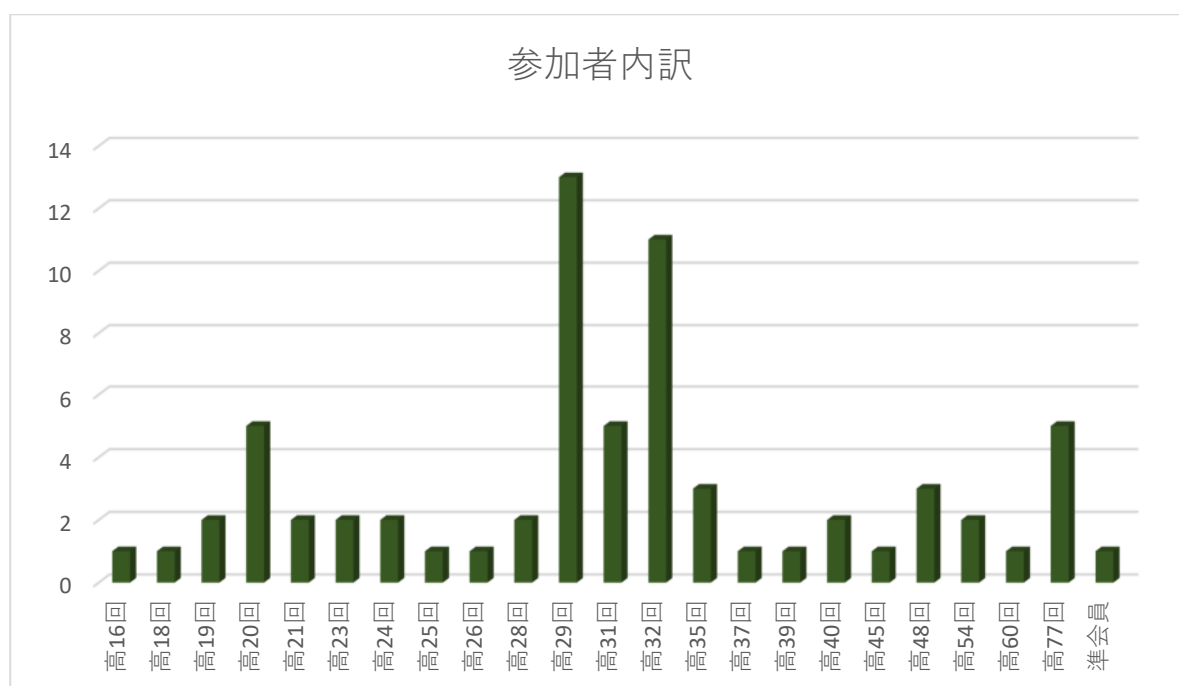
参加者（出席者とみなす）数、承認・非承認結果は以下の通りで、総会において令和 6 年度の事業報告・決算、役員改選、令和 7 年度事業計画・予算は承認された。

定時総会後に講師として作家 土橋進幸(ペンネーム佐野広実)氏（高 32 回）を招いて特別講演会を行った。参加者は 63 名だった。

特別講演会終了後には講師にもご参加いただいて、懇親会を開催した。参加者は 43 名だった。

議案	採決	結果
決算	承認	68名
	非承認	0名
	承認率	100%
役員改選	承認	68名
	非承認	0名
	承認率	100%
事業計画 予算案	承認	68名
	非承認	0名
	承認率	100%

出席者の内訳					
高16回	1名	高26回	1名	高40回	2名
高18回	1名	高28回	2名	高45回	1名
高19回	2名	高29回	13名	高48回	3名
高20回	5名	高31回	5名	高54回	2名
高21回	2名	高32回	11名	高60回	1名
高23回	2名	高35回	3名	高77回	5名
高24回	2名	高37回	1名	準会員	1名
高25回	1名	高39回	1名		
総参加者数68名（内、WEB投票者21名）					



<音楽委員会事業>

2. 第20回青春かながわ校歌祭

第20回青春かながわ校歌祭が、10月18日（土）に、やまと芸術文化ホールで行われた。今年度は26校の参加があり、各校それぞれのパフォーマンスが繰り広げられた。

今回は、指導・指揮を母壁菜穂子さん（高33回）にお願いして2回目となった。母壁さんは現在も埼玉県の中学校の音楽科教員として合唱指導に携わっている方で、楽しく、初心者にもわかりやすい指導で、私たちを本番へと導いていただいた。また、昨年に引き続き、ピアノ伴奏を母校音楽科講師の佐藤駿先生にお願いしたが、練習・本番と、私たちの合唱を支えていただいた。今回は、翠嵐会の校歌祭合唱団へ初めて参加していただいた方が多く、校歌祭実行委員会としても、とてもうれしく、また心強く思った。

今回は、自由曲に「エーデルワイス」（サウンドオブミュージックから）を選び、恒例の「第四応援歌」と「校歌」と合わせて、9月7日・9月28日・10月12日の3回、いずれも母校「翠翔み

らい館」で練習を行った。練習では、ときどき生徒の気分に戻ったりしながら、合唱の楽しさを満喫することができた。休憩時間などには、同期の輪が広がったり、先輩・後輩の交流があったりと、和やかな雰囲気が進めることができた。エーデルワイスの練習では、サウンドオブミュージックのラストの場面が浮かび、平和について思いを巡らせることもあった。

本番では最高齢 87 歳から在校生 16 歳まで世代を超えた約 70 名の合唱団が登壇し、在校生の山畑さんの学校紹介にはじまり、まずは「エーデルワイス」を可憐な白い花を思い浮かべながら、そして横浜翠嵐 OBOG 吹奏楽団金管メンバーの演奏に励まされ「第四応援歌」を元気よく、そして最後に我々が誇る「校歌」を高らかに歌い上げた。練習の成果を十二分に発揮し、翠嵐らしい温かい合唱を聴いていただけたのではないかと思う。

記念撮影後、会場近くの「カリフォルニアダイナー ～レラシオン～」で懇親会を行った。江成同窓会長と師岡校長先生にもご参加いただき、本番の余韻を味わいながら、また来年の参加を期して散会した。

- 日時：令和 7 年 10 月 18 日（土）
- 会場：やまと芸術文化ホール
- 担当：県立川崎高等学校 柏葉会
- 主催：かながわ校歌振興会／第 20 回青春かながわ校歌祭実行委員会
- 共催：神奈川県教育委員会

3. 翠嵐会音楽会、翠嵐・音フェス

「翠嵐会音楽会」、「翠嵐・音フェス」は開催しなかった。

翠嵐会音楽会は 2016 年の第 11 回を最後に中断している。翠嵐・音フェスは 2020 年の音フェス 105 を最後に中断している。

会場確保など 1 年以上前からの準備期間を要するこれらの事業は、コロナ禍等による数年にわたる中止に実行委員会は継続性が担保できずに再構築できていない。

<美術委員会事業>

4. 第 50 回翠嵐会美術展の開催

- 会期：令和 7 年 10 月 29 日（水）～ 11 月 2 日（日）
10:00～18:00（最終日は 15:00 まで）
- 会場：FEI ART MUSEUM YOKOHAMA（前回と同じ）
- 出品作品：油彩画・水彩画・水墨画・版画・彫刻・書・写真・工芸 etc.
- 出品者：同窓生 66 名・在校生 20 名
- 来場者：458 名
- 実行委員会：第 1 回 6 月 10 日（火）、第 2 回 9 月 9 日（火）、第 3 回 11 月 11 日（火）

<特記事項>

- (1) 出品者は卒業生 66 名、在校生 20 名と昨年を上回る人数であった。
委員や他の出品者相互の声掛けにより昨年より増えた事は良かった。
- (2) 今回は第 50 回記念展のため土門拳氏の作品を母校よりお借りして会場に展示した。
素晴らしい作品で委員はもとより、来場者の皆さんにも喜んでいただけた様で良かった。
来場者の在校生が目を輝かせて『初めて観ました』と言ったのが印象的であった。
- (3) オープニングパーティー、ギャラリートークなどは大いに盛り上がり美術展の目的の一つでもある会員相互の親睦に繋がったのではないかと思う。
ただし、コロナ禍の影響、会員の高齢化によりパーティーへの参加は減る傾向にあるので、

次年度は簡素化なども考えている。

- (4) 諸物価高騰、会場費の値上がりなどで開催を危ぶまれた時期もあったが、さらなる経費節減の努力、急遽、会場での寄付金箱設置などにより、何とか乗り切った。
無事に記念展を終えられ安堵している。
ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げたい。

<翠嵐会報編集委員会事業>

5. 翠嵐会報第 39 号発行

□発行日：令和 7 年 10 月 1 日

□発行部数：約 2 万部

翠平戦の結果、7 年度の翠嵐会総会・講演会・懇親会の実施報告と 8 年度の予告、美術展の 7 年度の報告と 8 年度の予告、7 年度の田奈部隊学徒勤労働員生徒殉難者の慰霊訪問報告と 8 年度予告、翠平戦の報告、在校生の活躍、母校職員の異動のお知らせなどを掲載した。

なお、発行後に翠平戦結果と職員の異動に関して修正が必要となり、HP 上で訂正を行った。

<総務・企画委員会事業>

6. 翠嵐会報広告

令和 7 年 10 月に発行した翠嵐会報 39 号には翠嵐卒業生による 9 社の広告を載せた。

1 ページ(全面)： 0 社

1/2 ページ： 2 社

1/4 ページ： 6 社

1/10 ページ： 1 社

◆目的は卒業生が運営する企業や団体を翠嵐会員に広報することであるが、32 万円の収入となった。

7. 翠平戦

令和 6 年度横浜翠嵐高等学校創立 110 周年、令和 7 年度横浜平沼高等学校創立 125 周年の記念の交流事業として「翠平戦 平翠戦」が復活した。令和 7 年度は平沼高校が幹事校として運営した。5 月に平沼高校応接室にて「キックオフ会議」、平沼高校による「平翠戦 翠平戦 特設サイト」により情報提供は続けられた。特筆すべきはスポーツ交流における OB 戦が野球部の他にサッカー部、剣道部で実施できた。また、文化交流として、写真部、かるた部、軽音楽部の交流ができた。12 月に平沼高校体育館にて「平翠戦・翠平戦クロージングセレモニー」が行われ、翠嵐高校が再び優勝旗を手にした。2 年間にわたる両校創立記念事業として行われた「翠嵐平沼スポーツ・文化交流事業（翠平戦・平翠戦）」は無事終了した。

各々の試合結果は以下の通り。2025年度 翠嵐：19 平沼：16

試合	開催日時	会場	試合結果	翠嵐 勝点	平沼 勝点
バスケットボール部 現役戦	2025年12月06日(土)	平沼高校	女子 平沼 73対43 翠嵐 男子 平沼 69対80 翠嵐	3	3
野球部 OB戦 現役戦	2025年11月22日(土)	平沼高校	OB戦は、5対2で翠嵐の勝利 現役戦は、9対4で翠嵐の勝利	6	0
軽音楽部 文化交流	2025年10月19日(日)	平沼高校小ホール	平沼高校と翠嵐高校が合同で開催したLIVEイベント		
女子ハンドボール部	2025年10月05日(日)	平沼記念体育館	横浜平沼が12対1で勝利	0	3
かるた部 個人戦、	2025年9月14日(日)	平沼高校	横浜平沼高校が4勝1敗で勝利	0	3
テニス部 現役戦	2025年8月16日(土)	翠嵐高校	男子の部：平沼高校 1勝4敗 女子の部：平沼高校 2勝3敗	6	0
写真部 文化交流	2025年6月28日(土) 2025年6月29日(日)	平沼高校、翠嵐高校	文化祭にて両校写真部が文化交流事業として互いの作品を展示	—	—
剣道部現役戦	2025年5月06日(火祝)14:20	平沼武道場	平沼 5勝 1分 4敗		3
剣道部OBOG戦	2025年5月06日(火祝)15:00	平沼武道場	平沼 3勝 2敗		3
サッカー部現役戦	2025年5月22日(土)	平沼グラウンド	現役 第1試合 (公式戦)	4	1
サッカー部OB戦	9:00、10:25		平沼 0 - 1 翠嵐 (翠嵐勝利・勝ち点3)		
	OB戦 12:00		現役 第2試合		
			(フレンドリーマッチ)		
			平沼 1 - 1 翠嵐		
			(引き分け・勝ち点対象外)		
			OB戦		
		平沼 0 - 0 翠嵐			
		(引き分け・両校勝ち点1)			

8. 鈴木孝庸氏・平曲の会

高校 18 回卒業、元本校教諭で、新潟大学名誉教授の鈴木孝庸氏による「平曲の会」を共催した。卒業生を中心に現役生徒や保護者など、58 名の聴衆がその演奏を堪能した。

□主催: 翠嵐会

□共催: 横浜翠嵐高校(国語科)

□開催日: 令和 7 年 11 月 1 日(土) 14:00~16:30

□場所: 母校視聴覚室

□対象: 翠嵐会員、本校生徒・保護者

□出演: 鈴木 孝庸氏(新潟大学名誉教授、日本文学研究者、橋本流平曲奏者)、
荒井今日子氏(鈴木孝庸門下)

□演目: 「敦盛最期」「海道下」ともに(導師) 鈴木氏、(助言) 荒井氏
「祇園精舎」鈴木氏

□参加費: 無料

9. 田奈部隊学徒勤労働員生徒殉難者現地慰霊

田奈部隊学徒勤労働員生徒殉難者の命日の前に現地にて慰霊を行った。

□ 開催日時: 令和 7 年 11 月 29 日(土) 10:00~

母校校長、教諭、翠嵐会会長、副会長、会計監査、翠嵐高校卒業生 4 名総勢 9 名で田奈の遭難現地を慰霊訪問した。

10. 六本のヨコハマヒザクラ(横浜緋桜)維持管理

田奈部隊学徒勤労働員生徒殉難者 6 名の御霊を慰霊するため植えた 6 本のうち長年の日照不足で成長が悪かった 4 本を移植した。

移植を担当したサカタのタネグリーンサービスに診断、剪定、雑草取り、肥料等土壌の維持管理委託し、今年度は 2025 年 7 月 9 日実施した。桜木は健康に育っている。

11. 分野別職業講話講師派遣

母校(全日制)ではキャリア教育の一環として、1・2 年生を対象に対面で「分野別職業講話」を令和 8 年 3 月 14 日(土)に実施した。今年度は翠嵐卒業生 14 名が講師となった。

生徒は前半・後半と 2 人の講話を聴いた。講師の職種は多岐にわたり、その職業に就いた経緯や現在の仕事、また、高校時代の思い出を語るなどして、生徒の進路を考えさせる一助となった。

12. キャリア講師情報の収集と共有

生徒のキャリア教育を支援するため、横浜翠嵐高校と翠嵐会で協定して、キャリア講師に適した卒業生の情報収集と、翠嵐高校と共有を図るシステムを運用し機能し始めている。広い視野と多様性を育む教育に供する。翠嵐会ホームページより情報提供をお願いする。令和 7 年度末時点で講師候補 151 名の情報を共有している。

13. 収支バランスの改善

翠嵐支援基金の設立、卒業時一年以内の終身会費優遇制度の導入、翠嵐会報広告掲載事業などの

改革を続けた結果、平成 30 年度に翠嵐支援基金を含む総収支バランスがプラスになり以降黒字に転じている。

本年度は一般会計収入 757.7 万円、翠嵐支援基金寄付(利子を含む)が 101.8 万円であった。全収入は 859.5 万円となった。

一方、一般会計支出は 703.5 万円、翠嵐支援基金支出は 72.3 万円であった。全支出は 775.8 万円であった。

一般会計、翠嵐支援基金合わせての本年度の収支バランスはプラス 83.7 万円であった。

<コミュニケーション委員会事業>

14. 翠嵐会公式ホームページの運用

翠嵐会ホームページはスマートフォン、タブレットにも対応し、翠嵐会の公式な情報発信メディアとして定着した。イベント情報、同期会情報、各クラブ OBOG 活動に関する情報、その他翠嵐会に関わる全ての公式情報を公開している。母校生徒、卒業生の活躍記事なども掲載している。

また、各種申し込み、意見投稿や、事務局への問い合わせ、住所や氏名の変更届など受け付けている。

当委員会は会運営にとって極めて重要な情報インフラであるホームページの運用を日々行っている。

役員会、総会に出席出来ない方のために、承認プロセスをホームページ上に期間限定で公開し、議案書に沿って議案を承認する仕組みを実現するシステムを急遽当委員会で構築し、運用している。

15. 翠嵐歴史資料検索システム

アーカイブス整備委員会で進めている翠嵐歴史資料検索システムが出来上がった。運用にむけ準備を進めている。

<アーカイブス整備委員会事業>

16. 歴史的資料の集約

翠嵐の歴史的資料は校内の複数ヶ所で保管されていたが、学校と協議のうえ応接室に一部を集約・一元管理し、直ぐ取り出すことができ、来客にもご覧頂けるようになった。卒業アルバムなど年度毎に並び替え、閲覧し易くした。

集約した資料の陳列整理と、翠嵐歴史資料検索データベースシステムのテストを含め資料登録を行う準備を進めている。

翠嵐歴史資料検索データベースシステムにより、何処に何がどんな形で、いくつ存在して、誰に貸し出し中であるか分かる状態になる。

最近の歴史資料は紙など形のある物から、pdf 文書、パンフレット、録音、録画と形のない電子ファイルへと変化している。このため、翠嵐が保有するあらゆる資料をデータベース化して管理し、検索してその資料の保管場所に辿り着くシステムを構築している。

17. 歴史資料の展示

資料は応接室に集約されたが、本年度展示については進捗しなかった。

<翠嵐支援基金>

18. 翠嵐支援基金概要

翠嵐支援基金は母校や生徒の教育・文化・スポーツ活動を支援することを目的として平成 27 年 5 月設立した。会員相互の親睦を目的とする一般会計とは分離し、寄付により運営している。

令和 7 年度の個人寄付金総額は 99.5 万円、預金利子 2.3 万円だった。

19. 継続支援

当年度は国際交流として姉妹高の受入費用 50 万円を補助した。全日制、定時制生徒の対外活動での活躍を横断幕（7 枚総額 8.5 万円）でお祝いし、卒業記念品としてクリアファイル、定時制卒業証書入れ（総額 6.2 万円）を贈呈した。

20. 校内樹木プレートの追加作成

校内には、開校当時から多くの樹木が植栽され、また自然植生も残されている生物基礎のカリキュラムの中で「植生」の単元があり、春・夏・冬と年 3 回校舎敷地内を授業中に観察して回り、勉強している。

その樹木に、樹木プレートのサイン文から植生の深い理解が出来るようなプレートを付けて、高校周辺や日本の植生についても考えられる人を育てたいと母校より要望あり、

令和 6 年度、59 種 77 樹木分のプレート作成を支援した。

本年度は追加で 2 種 14 枚の樹木プレート作成費用として 4.9 万円を支援した。プレート記載文言、取付けにあたって母校先生方が対応した。

<学校行事関連>

21. 学校運営協議会

学校運営協議会会長は加藤俊志元校長、副会長兼キャリア部会長に翠嵐会会長江成正彦が就いた。学校運営協議会には「地域連携部会」「キャリア部会」「探究部会」がある。本年度は以下のように開催された。

第1回学校運営協議会：2025年5月13日（火）

第2回学校運営協議会：2026年1月20日（火）

第3回学校運営協議会：2026年3月23日（月）

22. 体育祭

第77回体育祭：2025年9月18日（木）

緑組が優勝した。小山田副会長が参列した。

23. 卒業式

令和7年度第78回全日制卒業式：令和8年3月6日（金）

卒業生数：345名

開催場所：母校体育館

令和7年度第59回定時制卒業式：令和8年3月6日（金）

4年卒業生数：3名

3年卒業生数：9名

開催場所：母校体育館

<決議事項>

第1号議案 令和7年度決算および監査報告

令和7年度 決算

一般会計

単位：円

項目		予算額	決算額	差異	備考	
収入	入会金	1,166,400	1,227,600	61,200		
	会費	年会費	1,505,000	1,500,500	▲ 4,500	
		終身会費	3,810,000	4,810,000	1,000,000	
		その他			0	
	雑収入	11,253	38,956	27,703	利子等	
収入合計		6,492,653	7,577,056	1,084,403		
支出	運営費等	会報費	3,500,000	4,141,737	641,737	広告収入32万円を控除
		運営費	600,000	568,614	▲ 31,386	
		慶弔費	50,000	42,100	▲ 7,900	
		通信費	200,000	161,334	▲ 38,666	
		総会費	300,000	347,680	47,680	
		納入時振込手数料（翠嵐会）	200,000	174,406	▲ 25,594	
		備品・雑費	50,000	0	▲ 50,000	
		予備費	20,000	0	▲ 20,000	
	特別予算	キャリア講師情報収集システム構築	100,000	0	▲ 100,000	
		MOMI銘板設置と桜木銘板移設	500,000	0	▲ 500,000	
		歴史資料データベース構築費	800,000	0	▲ 800,000	
		平沼高校交流戦準備費	100,000	39,512	▲ 60,488	
	委員会支出	美術委員会	300,000	300,000	0	
		音楽委員会	120,000	120,000	0	
		コミュニケーション委員会	600,000	600,000	0	
		アーカイブス整備委員会	0	0	0	
	積立金	特別修繕積立金	240,000	240,000	0	
		周年行事積立金	300,000	300,000	0	
	支出合計		7,980,000	7,035,383	▲ 944,617	
	当期収支差額		▲ 1,487,347	541,673	2,029,020	
前期繰越金		66,184,548	66,184,548	0		
次期繰越金		64,697,201	66,726,221	2,029,020		

積立金

単位：円

項目		予算額	決算額	差異	備考	
特別修繕積立金	収入	一般会計から繰り入れ	240,000	240,000	0	
		利息等	0	3,650	3,650	
	活動支出	MOMI再塗装メンテナンス	0	0	0	
		桜木巡回管理	100,000	33,330	▲ 66,670	
	収支差額		140,000	210,320	70,320	
	前期繰越金		2,045,796	2,045,796	0	
次期繰越金		2,185,796	2,256,116	70,320		
周年行事積立金	収入	一般会計から繰り入れ	300,000	300,000	0	
		利息等	0	2,685	2,685	
	活動支出		0	0	0	
	収支差額		300,000	302,685	2,685	
	前期繰越金		1,408,126	1,408,126	0	
	次期繰越金		1,708,126	1,710,811	2,685	
積立金計	収入	一般会計から繰り入れ	540,000	540,000	0	
		利息等	0	6,335	6,335	
	活動支出		100,000	33,330	▲ 66,670	
	収支差額		440,000	513,005	73,005	
	前期繰越金		3,453,922	3,453,922	0	
	次期繰越金		3,893,922	3,966,927	73,005	

委員会会計

単位：円

項 目		予算額	決算額	差 異	備 考
翠 嵐 会 美 術 展	一般会計から繰り入れ	300,000	300,000	0	
	活動収入	350,000	434,122	84,122	預金利息521円を含む
	活動支出	860,000	827,662	▲ 32,338	
	収支差額	▲ 210,000	▲ 93,540	116,460	
	前期繰越金	342,628	342,628	0	
	次期繰越金	132,628	249,088	116,460	
校 歌 祭	一般会計から繰り入れ	120,000	120,000	0	
	活動収入	0	461	461	利子のみ
	活動支出	150,000	124,225	▲ 25,775	
	収支差額	▲ 30,000	▲ 3,764	26,236	
	前期繰越金	208,987	208,987	0	
	次期繰越金	178,987	205,223	26,236	
翠 嵐 会 音 楽 会	一般会計から繰り入れ	0	0	0	
	活動収入	0	1,303	1,303	利子のみ
	活動支出	0	0	0	
	収支差額	0	1,303	1,303	
	前期繰越金	760,182	760,182	0	
	次期繰越金	760,182	761,485	1,303	
音 フ エ ス	一般会計から繰り入れ	0	0	0	
	活動収入	0	680	680	利子のみ
	活動支出	0	0	0	
	収支差額	0	680	680	
	前期繰越金	396,934	396,934	0	
	次期繰越金	396,934	397,614	680	
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	一般会計から繰り入れ	600,000	600,000	0	
	活動収入	0	1,274	1,274	利子のみ
	活動支出	600,000	390,132	▲ 209,868	
	収支差額	0	211,142	211,142	
	前期繰越金	452,713	452,713	0	
	次期繰越金	452,713	663,855	211,142	
ア ー カ イ ブ 整 備	一般会計から繰り入れ	0	0	0	
	活動収入	0	1,616	1,616	利子のみ
	活動支出	100,000	0	▲ 100,000	
	収支差額	▲ 100,000	1,616	101,616	
	前期繰越金	943,446	943,446	0	
	次期繰越金	843,446	945,062	101,616	
委 員 会 計	一般会計から繰り入れ	1,020,000	1,020,000	0	
	活動収入	350,000	439,456	89,456	
	活動支出	1,710,000	1,342,019	▲ 367,981	
	収支差額	▲ 340,000	117,437	457,437	
	前期繰越金	2,764,890	3,104,890	340,000	
	次期繰越金	2,424,890	3,222,327	797,437	

活動収入には利子を含みます

翠嵐支援基金

単位：円

項目		予算額	決算額	差異	備考	
収入	個人寄付金	2,000,000	994,500	▲ 1,005,500	76件	
	その他	0	0	0	宴会残金等個人寄付以外	
	利子等	0	23,011	23,011		
	収入合計	2,000,000	1,017,511	▲ 982,489		
支出	奨励費	文化祭	0	0	0	
		体育祭	0	0	0	
		新聞委員会補助	0	0	0	
		国際交流補助	500,000	500,000	0	
		対外活動費補助	100,000	0	▲ 100,000	大会交通費補助
		卒業祝等	100,000	61,888	▲ 38,112	クリアファイル・証書入れ
		横断幕等	100,000	84,590	▲ 15,410	横断幕7枚を含む
		校内樹木プレート	50,000	48,934	▲ 1,066	
				0		
	運営費	納入時振込手数料	30,000	26,962	▲ 3,038	基金振込時
		他手数料	0	330	330	支援費振込時
					0	
		支出合計	880,000	722,704	▲ 157,296	
当期収支差額		1,120,000	294,807	▲ 825,193		
前期繰越金		14,394,830	14,394,830	0		
次期繰越金		15,514,830	14,689,637	▲ 825,193		

次期繰越金

単位：円

項目	予算額	決算額	差異	備考
一般会計	64,697,201	66,726,221	2,029,020	
委員会会計	2,424,890	3,222,327	797,437	
積立金	3,893,922	3,966,927	73,005	
翠嵐支援基金	15,514,830	14,689,637	▲ 825,193	
合計	86,530,843	88,605,112	2,074,269	

令和7年度 翠嵐会
会計監査報告書

令和8年5月9日

横浜翠嵐高等学校同窓会「翠嵐会」

会 長 江 成 正 彦 様

会計監査 青 木 健 ⑩

会計監査 山 田 高 章 ⑩

横浜翠嵐高等学校同窓会「翠嵐会」の令和7年度（自:令和7年4月1日、
至:令和8年3月31日）における、会計帳簿および収支決算書につきまして、
帳簿並びに関係証票書類に基づき監査の結果、適正に処理されていることを認
めます。

以上

上記は、会計監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は計算書類に添付され翠嵐会事務局が別途保管しております

<決議事項>

第2号議案 令和8年度事業計画および予算

事業計画

24. 今年度活動方針

継続事業

本年度は総会・講演会・懇親会を予定通り行い、イベント系事業を計画し、翠嵐会報第40号を発行する。同時にオンラインで目的が達成できる会合等を併用し効率化を図る。事務業務など組織運営は継続して行う。

新規事業

翠嵐支援基金において国際交流生徒受入補助、海外研修補助を設ける。

重点施策

1. 新たな事業推進体制を構築する。
2. 学校運営協議会制度に関り、社会教育支援を強化する。

<音楽委員会事業>

25. 第21回青春かながわ校歌祭

「第21回青春かながわ校歌祭」は下記の通り開催が決定し、翠嵐会校歌祭実行委員会を開催し、参加を決定した。前回に引き続き、母壁菜穂子さん（高33回）の楽しく、わかりやすい指導で3回の練習を重ねた後、本番に臨む。今回は、「この広い野原いっぱい」「第四応援歌」「校歌」の3曲を歌う。

開催概要

- 日時：令和8年10月24日（土）
- 会場：南足柄市文化会館
- 担当：県立吉田島高等学校 同窓会
- 主催：かながわ校歌振興会／第21回青春かながわ校歌祭実行委員会
- 共催：神奈川県教育委員会

26. 翠嵐会音楽会、翠嵐・音フェスの活動方針

翠嵐会音楽会はプロの音楽家として活動する卒業生を支援する目的で平成18（2006）年より平成28（2016）年まで11回開催し、プロ・アマ、ジャンルを問わず出演できる音楽フェスティバル「翠嵐・音フェス101」を平成28（2016）年に開催後、令和2（2020）年「105」まで毎年開催してきた。

コロナ禍で企画・メンバーの継続性が崩れ、中断している。

新しい発想で発案する企画者・メンバーを募集する。

<美術委員会事業>

27. 第 51 回翠嵐会美術展の開催

- 会期：令和 8 年 10 月 14 日（水）～ 10 月 18 日（日）
10:00～18:00（最終日は 15:00 まで）
- 会場：FEI ART MUSEUM YOKOHAMA（前回と同じ）
- 出品作品：油彩画・水彩画・水墨画・版画・彫刻・書・写真・工芸 etc.
- 出品者：約 70～80 名（在校生も出品予定）
- 実行委員会：第 1 回 6 月 9 日（火）、第 2 回 9 月 8 日（火）、第 3 回 11 月 10 日（火）

<特記事項>

- (1) 前回に続き、大勢の皆様の出品をお願いすべく積極的にお声がけをしたい。
又、在校生(出品者、一般の生徒)の皆さんにももっと会場にいらして直に ART に触れていただける様、そして新しい風を吹き込んでいただける様に働きかけたい。
- (2) 会計的には依然として厳しい状況にあるが、現時点で開催可能な全ての条件を満たすところは FEI ART MUSEUM YOKOHA 以外にはなく、また翠嵐高校の通学路上にあるという点も含めて、FEI 画廊の使用をできる限り、続けたいと思っている。
伝統ある横浜翠嵐高校の文化の灯を絶やすことなく次代に繋げて行かれるよう努力したい。

<翠嵐会報編集委員会事業>

28. 翠嵐会報第 40 号の発行

- 発行日：令和 8 年 10 月または 11 月頃
 - 発行部数：約 2 万部
- 翠平戦の報告、在校生の活躍、年度総会の報告、令和 9 年度総会・講演会・懇親会の案内ほか、在校生の活躍、翠嵐の歴史を振り返る等の記事を企画して掲載する予定。
なお、2号連続で発行後に修正を行ったことから、発行前のチェック体制の抜本的見直しを図る。

<総務・企画委員会事業>

29. 翠嵐会報第 40 号の広告募集

- 翠嵐会報 40 号に掲載する広告を募集する。
一般会計の収益改善と、卒業生が運営する企業や団体を翠嵐会員に広く知っていただくことを目的とする。
該当される方のご協力をお願いする。

30. 田奈部隊学徒勤労働員生徒殉難者現地慰霊

- 田奈部隊学徒勤労働員生徒殉難者の現地での慰霊を行う。
日時：令和 8 年 11 月 28 日（土）10 時より
場所：現地（横浜市青葉区奈良町 833 住吉神社前）
母校生徒会より一年生へ継承行事を行う予定。

31. 平沼高校真澄会との交流事業

一昨年度、昨年度にそれぞれの学校周年事業の一環で翠平戦（平翠戦）を行った。今後も両校同窓会はコミュニケーションを持ち、交流事業を検討し企画する。

32. 六本のヨコハマヒザクラ（横浜緋桜）維持管理

1944年、旧制横浜二中4年生6名が勤労働員中に事故で亡くなった。半世紀を経た1994年、同級の中学28回卒業生「ふたば会」が友を偲び平和を願って6本のヨコハマヒザクラを正門横に一列に整列して植樹した。周囲の木が成長して日照不足となり、4本が著しく生育が悪くなったため2020年に移植した。

サカタのタネグリーンサービスに、診断、剪定、雑草取り、施肥、施薬を行い、桜木が大きくなって近くの故田邊光彰氏（高9回）の作品MOMI（野生稲の発芽-2）に掛からないよう維持管理を委託する。翠嵐会・翠嵐高校にとって貴重な植物なので、将来に渡って予算を確保してゆく。

本年度は年2回の巡回管理費用として8.5万円を計上する。

33. MOMI 銘板設置と桜木銘板移設

平成6（1994）年に創立80周年を記念してMOMIを設置、同年、二翠会の方々により六本の桜木植樹と石碑が設置された。その後平成27（2015）年に翠嵐会より六本の桜木を説明する銘板（モニュメント）を立てた。その後、桜木の生育不良から4本を令和元（2019）年度MOMI周辺に移植し、翌令和2（2020）年度に離れてしまった銘板（モニュメント）を移設した。

しかし、MOMIの前に設置した銘板が、故田邊光彰氏（高9回）ご子息の田邊陵光氏からもMOMIを指すのではないかと誤解される可能性があるとの指摘を受けた。

そこで、MOMIを説明する銘板を新たに設置し、桜木を説明する銘板の位置関係を含め再構成する。昨年度計画、実施予定だったが新型コロナウイルス感染症拡大のため断念し今年度実施する。これについては田邊陵光氏と相談しながら進める。

本年度、銘板移設、設置費用として50万円を計上する。

34. 次回以降のMOMI再塗装メンテナンス

令和3（2021）年11月下旬から12月中旬にかけてMOMI再塗装メンテナンス工事を実施した。工事後、施工業者、横浜翠嵐高校、翠嵐会で次回以降について協議を行った。MOMIの状態は良好で、施工会社の観点からは「このままの状態でも2～3年は塗装の必要はないと思う。塗装してから10年近くは耐久性を保てる。再塗装は車と一緒に、なるべく回数を減らした方が、持ちが良い。塗装面が厚くなると剥れ易くなるので再塗装の回数はなるべく減らした方が得策。表面の汚れを柔らかいスポンジの水拭き（又は中性洗剤使用）で落とせば見栄えも良くなるのでそちらをお勧めする。」という見解を得た。そこで次回の再塗装メンテナンスは、3年後（2029年11月）とする。

35. 本年度（令和8年度）定時総会・講演会・懇親会

定時総会、講演会、懇親会を行う。承認プロセスにホームページ上に期間限定で公開し、議案書に沿って令和7年度事業報告・決算報告、令和8年度事業計画・予算案の意思確認を併用する。

開催日：令和8年5月23日（土）

会場：崎陽軒本店（横浜駅東口）

総会：

● 令和7年度事業報告・決算報告について

● 令和8年度事業計画・予算案について

講演会：

講師 医師 阿南英明氏（高 36 回）

- 懇親会：卒業生の交流を図る。講演会の講師も出席予定。

36. 鈴木孝庸氏・平曲の会

昨年に続き本年も高校 18 回卒業、元本校教諭で、新潟大学名誉教授の鈴木孝庸氏による「平曲の会」を主催する。

『平家物語』の中から一つの人物に焦点を当てて、その人物が描かれている章段を何段か語る。

- 主催：翠嵐会
- 共催：横浜翠嵐高校（国語科）
- 開催日：令和 8 年 10 月 3 日（土） 午後（2 時間程度）
- 場所：翠翔みらい館
- 参加資格：翠嵐高校生徒、翠嵐会員及び翠嵐高校、翠嵐会より紹介された方
- 参加費：無料
- 申込方法及び詳細：翠嵐会ホームページにて

37. 来年度（令和 9 年度）定時総会・講演会・懇親会の開催

定時総会、講演会、懇親会を開催する。

- 開催日：令和 9 年 5 月 22 日（土）
- 会場：崎陽軒本店（横浜駅東口）
- 総会：
 - 令和 8 年度事業報告・決算報告について
 - 役員改選
 - 令和 9 年度事業計画・予算案について
- 講演会：
未定
- 懇親会：卒業生の交流を図る。講演会の講師も出席の予定。

38. 分野別職業講話講師派遣

横浜翠嵐高校は、今年度も分野別職業講話を令和 9 年 3 月に実施を予定している。

キャリア教育講師情報の収集と母校との情報共有が機能し始めた。

皆さまのキャリアに関する情報提供をお願いします。

（翠嵐会ホームページトップページ下「キャリア教育講師情報募集」バナーより）

<アーカイブス整備委員会事業>

39. 歴史資料管理システムの運用開始

翠嵐歴史資料検索システムの運用を開始する。歴史資料のデータベース化に着手する。システムは人の運用そのものなので、今後登録者の確保、最適化など課題は出て来るものと想定する。

40. 歴史資料展示

歴史的資料は応接室に集約された。新書棚は上部がガラス扉になっているので、外から確認することができる。その内容物から整理してゆく。また、既に設置済みの応接室内および本館廊下ガラスショーケースと、壁を利用した展示方法を検討してゆく。

<コミュニケーション委員会事業>

41. ホームページの運用とコミュニケーション活動

ホームページはイベント情報、同期会に関する情報、その他翠嵐会に関わる全ての公式情報を公開している。イベントや行事の変更など適宜対応してゆく。

また、各種申し込み、意見投稿や、事務局への問い合わせ、住所や氏名の変更届など受け付けている。

当委員会は会運営にとって極めて重要な情報インフラであるホームページの運用を日々行っている。

昨今、サーバーへのサイバー攻撃が増え、巧妙化している。そこで翠嵐会ホームページの情報セキュリティ確保の為に改善の必要性が増している。これらの対策を適宜行っている。

コミュニケーション活動については、学校行事や翠嵐会のイベントなどを卒業生が「取材」として動くには時間的な問題もあり、困難である。SNS の利用方法・運営体制など総合的に検討し、見直しを継続する。

ホームページは告知機能に加え、過去の翠嵐会の活動、イベントの記録を後世に残し、アーカイブスとしての機能も有している。翠嵐会報も紙による同機能を果たしているが、電子化に向けており、融合する可能性がある。そこで今年度より翠嵐会報の WEB 閲覧、アーカイブス化に向けての検討予算を計上する。

<翠嵐支援基金>

42. 翠嵐支援基金

翠嵐支援基金は平成 26(2014)年に創立 100 周年記念事業の残金を当時の実行委員会(翠嵐高校、翠嵐会、翠和会(全日制 PTA)、振興会(定時制 PTA)による組織)からの寄付を受けて設立した。会員相互の親睦に供することを目的とした会費による「一般会計」とは分けて管理・運営している。

母校の教育・文化・スポーツ活動を支援することを目的とし、使途は翠嵐高校学校長と協議した上で決定し、翠嵐高校や生徒の教育的支援目的以外には支出できない。

令和 7 年度は単年度 99.5 万円の収入があり、当期末残高は 1,469 万円である。

横浜翠嵐高校ではアメリカ合衆国メリーランド州エレノア・ルーズベルト高校(以下ルー校)の生徒・教員約 30 名が来日し、翠嵐の生徒と交流を図る姉妹校国際交流事業と、20 名の生徒がルー校を訪問する姉妹校海外研修事業を行っている。

翠嵐支援基金では姉妹校国際交流事業に対して「国際交流補助」費として、令和 7 年度は 50 万円を支出した。

姉妹校国際交流事業は国内物価が上がり、米国側の規定変更による付き添い教員数の変更等があり、費用が膨らんでいる。また姉妹校海外研修事業は同様に米国内物価高等の渡航費の急騰等で、金銭的な理由で応募を断念することが懸念される。どちらの事業も予算不足の厳しい状況になっている。

そこで、翠嵐支援本年度予算として以下の予算を計上する。

□姉妹校国際交流事業

事業費補助として：840,000 円

内訳：

ルー高教員のホテル宿泊費補助一人 80,000 円、3 名分：240,000 円

ホームステイ先（本校生徒 20 世帯）への経費の援助 30,000 円、20 名：600,000 円

姉妹校海外研修事業

事業費補助金(短期海外研修奨学金)として一人 70,000 円、20 名分予算：1,400,000 円

対外活動補助

例年通り：100,000 円

卒業祝、横断幕等

例年通り：200,000 円

訪問事業、受入事業は大きな予算を必要とするが、翠嵐生徒の国際感覚を養い、世界に目を向けるグローバル教育の礎となるため、会員の皆様のさらなる支援をお願いする。

<学校行事関連>

43. 入学式

令和 8 年度第 81 回全日制入学式: 令和 8 年 4 月 8 日(水)

入学者数: 356 名(9 クラス)

開催場所：母校体育館

定時制は令和 8 年度より募集停止となった。

44. 学校運営協議会

今年度も学校運営協議会に翠嵐会会長がメンバーとしてする。

「教育課程・学習指導」「生徒指導・支援」「進路指導・支援」「地域等との協働」「学校管理・学校運営」の視点で協議を行う。

キャリア部会はグローバル人材を育成するため、最新の世界の産業状況、日本における企業の変化を伝える機会を増やす、終身雇用が終わってゆくなど現実を見据えたうえでの将来への希望と可能性などテーマとする。

令和8年度 予算

一般会計予算

単位：円

項 目		前年度予算額	本年度予算案	増 減	備 考	
収 入	入会金	1,166,400	1,227,600	61,200		
	会 費	年会費	1,505,000	1,500,500	▲ 4,500	
		終身会費	3,810,000	4,810,000	1,000,000	
		その他	11,253	38,956	27,703	
	雑収入	0	0	0		
収入合計		6,492,653	7,577,056	1,084,403		
支 出	運 営 費 等	会報費	3,500,000	3,500,000	0	制作費増
		運営費	600,000	600,000	0	名簿管理料
		慶弔費	50,000	50,000	0	
		通信費	200,000	200,000	0	
		総会費	300,000	300,000	0	
		納入時振込手数料（翠嵐会）	200,000	200,000	0	
		備品・雑費	50,000	50,000	0	
	特 別 予 算	キヤリア講師情報収集システム構築	100,000	100,000	0	
		MOMI銘板設置と桜木銘板移設	500,000	500,000	0	
		歴史資料データベース構築費	800,000	800,000	0	システム構築後期
		平沼高校交流戦準備費	100,000	30,000	▲ 70,000	
	委 員 会 支 出	美術委員会	300,000	300,000	0	
		音楽委員会	120,000	120,000	0	
		コミュニケーション委員会	600,000	400,000	▲ 200,000	
		アーカイブス整備委員会委員会	0	0	0	
	積 立 金	特別修繕積立金	240,000	240,000	0	MOMI増額+桜木巡回管理
		周年行事積立金	300,000	300,000	0	
支出合計		7,980,000	7,710,000	▲ 270,000		
当期収支差額		▲ 1,487,347	▲ 132,944	1,354,403		
前期繰越金		66,184,548	66,726,221	541,673		
次期繰越金		64,697,201	66,593,277	1,896,076		

積立金予算

単位：円

項 目		前年度予算額	本年度予算案	増 減	備 考	
特 別 修 繕 積 立 金	収 入	一般会計から繰り入れ	240,000	240,000	0	
		利息等	0	0	0	
	支 出	桜木巡回管理	100,000	85,000	▲ 15,000	
					0	
	収支差額		140,000	155,000	15,000	
前期繰越金		2,045,796	2,256,116	210,320		
次期繰越金		2,185,796	2,411,116	225,320		
周 年 行 事 積 立 金	収 入	一般会計から繰り入れ	300,000	300,000	0	次期周年行事
		利息等	0	0	0	
	活動支出	0	0	0		
	収支差額		300,000	300,000	0	
	前期繰越金		1,408,126	1,710,811	302,685	
次期繰越金		1,708,126	2,010,811	302,685		
積 立 金 計	収 入	一般会計から繰り入れ	540,000	540,000	0	
		利息等	0	0	0	
	活動支出	100,000	85,000	▲ 15,000		
	収支差額		440,000	455,000	15,000	
	前期繰越金		3,453,922	3,966,927	513,005	
次期繰越金		3,893,922	4,421,927	528,005		

委員会会計予算

単位：円

項目		前年度予算額	本年度予算案	増減	備考
翠嵐会美術展	一般会計から繰り入れ	300,000	300,000	0	
	活動収入	350,000	400,000	50,000	
	活動支出	860,000	770,000	▲ 90,000	
	収支差額	▲ 210,000	▲ 70,000	140,000	
	前期繰越金	342,628	249,088	▲ 93,540	
	次期繰越金	132,628	179,088	46,460	
校歌祭	一般会計から繰り入れ	120,000	120,000	0	
	活動収入	0	200	200	利子のみ
	活動支出	150,000	135,330	▲ 14,670	
	収支差額	▲ 30,000	▲ 15,130	14,870	
	前期繰越金	208,987	205,223	▲ 3,764	
	次期繰越金	178,987	190,093	11,106	
翠嵐会音楽会	一般会計から繰り入れ	0	0	0	
	活動収入	0	0	0	
	活動支出	0	0	0	
	収支差額	0	0	0	
	前期繰越金	760,182	761,485	1,303	
	次期繰越金	760,182	761,485	1,303	
音フエス	一般会計から繰り入れ	0	0	0	
	活動収入	0	0	0	
	活動支出	0	0	0	
	収支差額	0	0	0	
	前期繰越金	396,934	397,614	680	
	次期繰越金	396,934	397,614	680	
コミュニケーション	一般会計から繰り入れ	600,000	400,000	▲ 200,000	
	活動収入	0	0	0	
	活動支出	600,000	600,000	0	
	収支差額	0	▲ 200,000	▲ 200,000	
	前期繰越金	452,713	663,855	211,142	
	次期繰越金	452,713	463,855	11,142	
アーカイブ整備	一般会計から繰り入れ	0	0	0	
	活動収入	0	0	0	
	活動支出	100,000	200,000	100,000	資料整備再開
	収支差額	▲ 100,000	▲ 200,000	▲ 100,000	
	前期繰越金	943,446	945,062	1,616	
	次期繰越金	843,446	745,062	▲ 98,384	
委員会計	一般会計から繰り入れ	1,020,000	820,000	▲ 200,000	
	活動収入	350,000	400,200	50,200	
	活動支出	1,710,000	1,705,330	▲ 4,670	
	収支差額	▲ 340,000	▲ 485,130	▲ 145,130	
	前期繰越金	2,764,890	3,222,327	457,437	
	次期繰越金	2,424,890	2,737,197	312,307	

活動収入には利子を含みます

翠嵐支援基金予算

単位：円

項目		前年度予算額	本年度予算案	増減	備考	
収入	個人寄付金	2,000,000	2,500,000	500,000		
	その他	0	0	0		
	利子等	0	0	0		
	収入合計	2,000,000	2,500,000	500,000		
支出	奨励費	姉妹校国際交流事業補助 (旧国際交流補助)	500,000	840,000	340,000	受入費用増加のため
		姉妹校海外研修事業補助	0	1,400,000	1,400,000	7万円×20名
		対外活動補助	100,000	100,000	0	
		卒業祝等	100,000	100,000	0	クリアファイル・証書入れ
		横断幕等	100,000	100,000	0	
		校内樹木プレート追加作成	50,000	0	▲ 50,000	
					0	
	運営費	振込手数料等	30,000	30,000	0	
			0		0	
			0		0	
支出合計		880,000	2,570,000	1,690,000		
当期収支差額		1,120,000	▲ 70,000	▲ 1,190,000		
前期繰越金		14,394,830	14,689,637	294,807		
次期繰越金		15,514,830	14,619,637	▲ 895,193		

次期繰越金予算

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算案	増減	備考
一般会計	64,697,201	66,593,277	1,896,076	
委員会会計	2,424,890	2,737,197	312,307	
積立金	3,893,922	4,421,927	528,005	
翠嵐支援基金	15,514,830	14,619,637	▲ 895,193	
合計	86,530,843	88,372,038	1,841,195	

＜執行部の体制紹介＞

※執行部とは翠嵐会の日々の運営を迅速に行うため、随時会長が召集するメンバーであり、常任役員、委員会委員長、事務局、事務局補助スタッフで構成する。

令和8年度翠嵐会執行部体制執行部体制

会長	江成 正彦（高 29 回）
副会長	山本 陽史（高 29 回） 小山田 一弥（高 29 回） 梅田 比奈子（高 32 回） 飯塚 幸子（高 40 回） 小林 広子（高 48 回）
会計	末包 博（高 40 回） 望月 篤史（高 54 回）
会計監査	青木 健（高 26 回） 山田 高章（高 37 回）

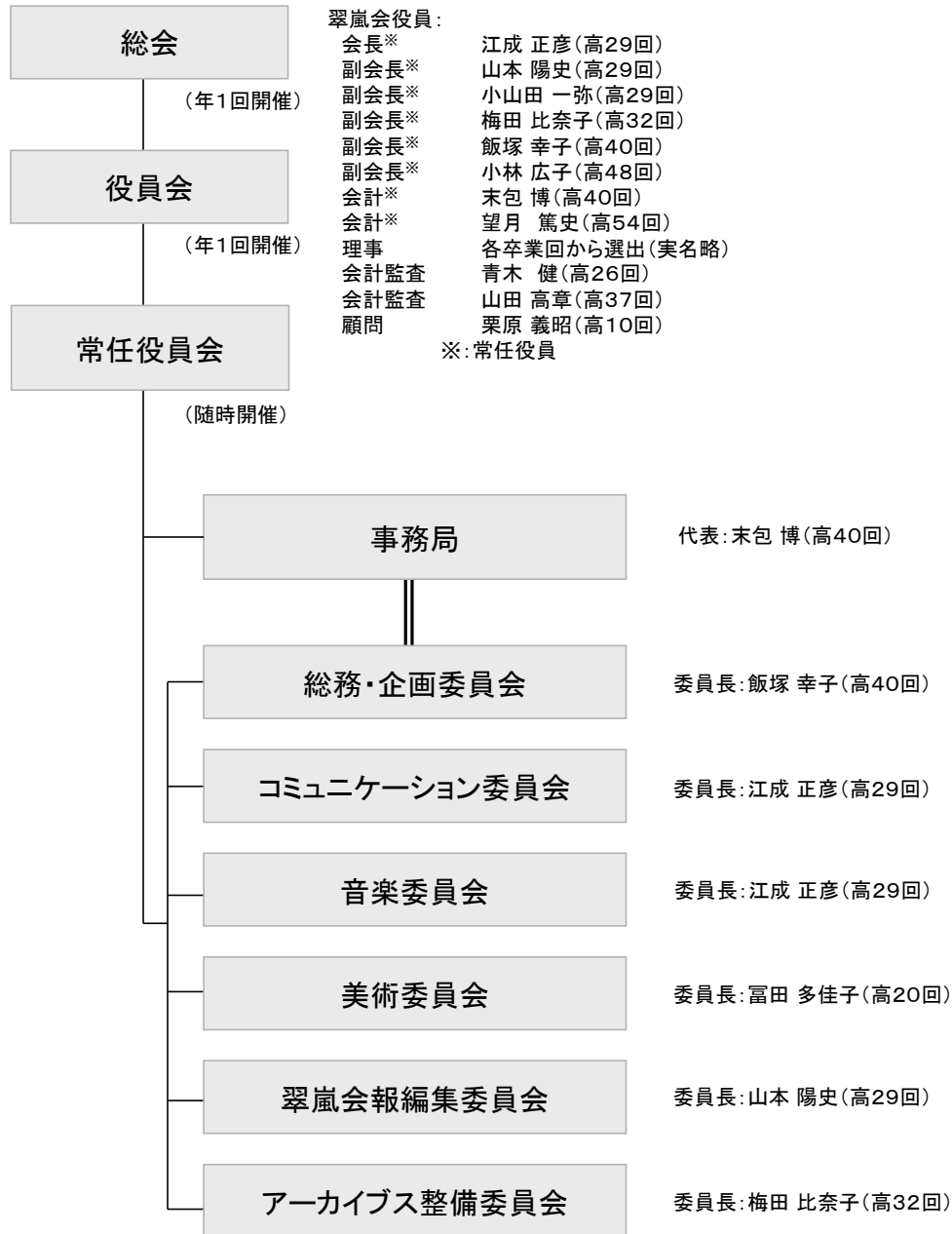
音楽委員会	委員長	江成 正彦（高 29 回）
校歌祭実行委員会	実行委員長	里見 正憲（高 24 回）
音フェス実行委員会	実行委員長	欠員
音楽会実行委員会	実行委員会	欠員
美術委員会	委員長	富田 多佳子（高 20 回）
翠嵐会報編集委員会	委員長	山本 陽史（高 29 回）兼
総務・企画委員会	委員長	飯塚 幸子（高 40 回）兼
コミュニケーション委員会	委員長	江成 正彦（高 29 回）兼
アーカイブス整備委員会	委員長	梅田 比奈子（高 32 回）兼

事務局	代表	末包 博（高 40 回）兼
校内幹事		佐藤 恵子（高 23 回） 末包 博（高 40 回） 望月 篤史（高 54 回）
事務局補助スタッフ		野沢 恵理子（高 29 回）

翠嵐会 組織図

翠嵐会 組織図

令和8年4月1日



神奈川県立横浜翠嵐高等学校同窓会 翠嵐会

事務局: 〒221-0854 横浜市神奈川区三ツ沢南町 1-1 横浜翠嵐高等学校内

公式ホームページ :<https://suirankai.jp/>

お問合せは公式ホームページの「ご連絡・お問合せ」ページから